

## 取扱いの趣旨

I g G 4 は、免疫グロブリン G ( I g G ) の 4 種のサブクラスの 1 種であり I g G 4 関連疾患で高値を示すため、特異的な変動が見られない胆嚢炎等に対する算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】 《令和6年7月31日》

### 259 I g G 4 の算定について

#### ○ 取扱い

- ① 次の傷病名に対する D014「41」 I g G 4 の算定は、原則として認められる。
  - (1) ミクリッツ病 (2) 自己免疫性脾炎 (3) 後腹膜線維症
  - (4) リーデル甲状腺炎 (5) キュットネル腫瘍 (6) I g G 4 関連疾患のみ
- ② 治療中（ステロイド投与初期）の D014「41」 I g G 4 の連月の算定は原則として認められる。
- ③ 経過観察時の D014「41」 I g G 4 の算定は、原則として 3 か月に 1 回認められる。
- ④ 次の傷病名に対する D014「41」 I g G 4 の算定は、原則として認められない。
  - (1) 胆嚢炎 (2) 腎臓病 (3) 肺炎 (4) 肝疾患 (5) 後腹膜炎 (6) 硬膜炎

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

I g G 4 は、免疫グロブリン G ( I g G ) の 4 種のサブクラスの 1 種で、I g G 4 関連疾患で高値を示す。

①に掲げる傷病名（ミクリッツ病、自己免疫性脾炎、後腹膜線維症、リーデル甲状腺炎、キュットネル腫瘍）は、いずれも I g G 4 関連疾患であり、高 I g G 4 血症が診断基準の一つとされている。

以上のことから、ミクリッツ病、自己免疫性脾炎、後腹膜線維症、リーデル甲状腺炎、キュットネル腫瘍、I g G 4 関連疾患のみに対する当該検査の算定は、原則として認められると判断した。

一方、④に掲げる傷病名（胆嚢炎、腎臓病、肺炎、肝疾患、後腹膜炎、硬膜炎）では、I g G 4 関連疾患に特異的な変動が見られないことから、これらの傷病名に対する算定は原則として認められないと判断した。

なお、I g G 4 関連疾患に対してはステロイド投与が有効であることより、ステロイド投与開始初期における、当該検査の連月の算定は原則として認められるが、病状が安定した各疾患の経過観察期間は、3 か月に 1 回の当該検査が妥当と判断される。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	岩手、愛媛、三重、広島	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	—	
③請求どおり・審査委員	岩手、愛媛、三重、広島	対象 1 万件当たり件数の多い順

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、IgG4関連疾患の患者であることから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2025年2月～2025年7月審査分

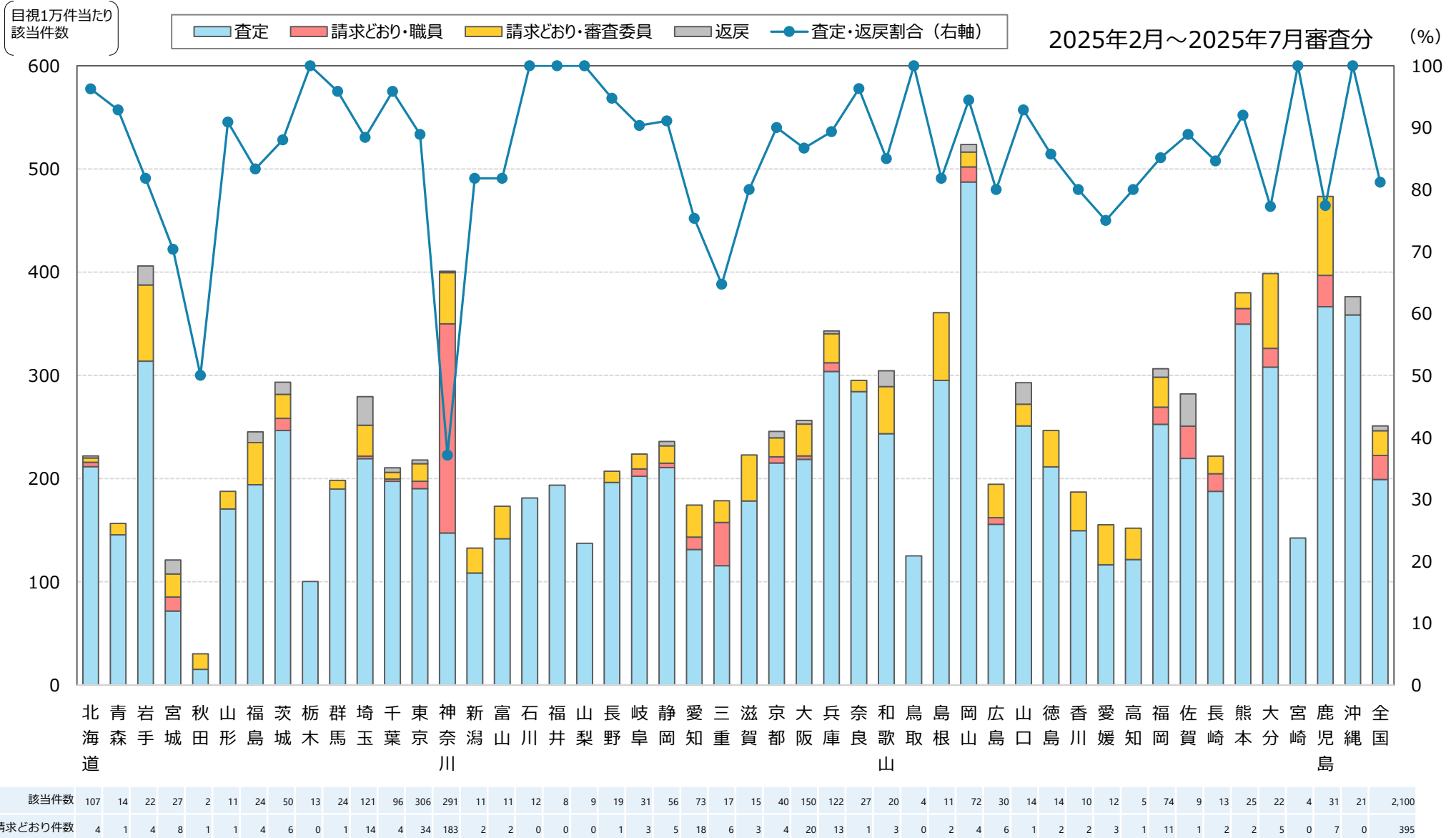
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,100件のうち、**取扱いと異なる審査は47件（2.24%）**  
検証対象25都道府県のうち、**フォローアップ対象は4都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
01 北海道	107										
02 青森	14										
03 岩手	22	18	81.82%	17	1	18	0	4	18.18%	0	4
04 宮城	27	25	92.59%	16	3	19	6	2	7.41%	2	0
05 秋田	2										
06 山形	11										
07 福島	24	24	100.00%	19	1	20	4	0	0.00%	0	0
08 茨城	50	50	100.00%	42	2	44	6	0	0.00%	0	0
09 栃木	13										
10 群馬	24										
11 埼玉	121	117	96.69%	95	12	107	10	4	3.31%	1	3
12 千葉	96										
13 東京	306	292	95.42%	267	5	272	20	14	4.58%	0	14
14 神奈川	291	288	98.97%	107	1	108	180	3	1.03%	2	1
15 新潟	11										
16 富山	11	10	90.91%	9	0	9	1	1	9.09%	0	1
17 石川	12										
18 福井	8										
19 山梨	9										
20 長野	19										
21 岐阜	31										
22 静岡	56										
23 愛知	73	73	100.00%	55	0	55	18	0	0.00%	0	0
24 三重	17	15	88.24%	11	0	11	4	2	11.76%	0	2

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
25 滋賀	15	15	100.00%	12	0	12	3	0	0.00%	0	0
26 京都	40	39	97.50%	35	1	36	3	1	2.50%	0	1
27 大阪	150	150	100.00%	128	2	130	20	0	0.00%	0	0
28 兵庫	122	118	96.72%	108	1	109	9	4	3.28%	3	1
29 奈良	27										
30 和歌山	20	20	100.00%	16	1	17	3	0	0.00%	0	0
31 鳥取	4										
32 島根	11	11	100.00%	9	0	9	2	0	0.00%	0	0
33 岡山	72										
34 広島	30	27	90.00%	24	0	24	3	3	10.00%	0	3
35 山口	14										
36 徳島	14	14	100.00%	12	0	12	2	0	0.00%	0	0
37 香川	10	9	90.00%	8	0	8	1	1	10.00%	0	1
38 愛媛	12	10	83.33%	9	0	9	1	2	16.67%	0	2
39 高知	5	5	100.00%	4	0	4	1	0	0.00%	0	0
40 福岡	74	68	91.89%	61	2	63	5	6	8.11%	3	3
41 佐賀	9										
42 長崎	13	13	100.00%	11	0	11	2	0	0.00%	0	0
43 熊本	25										
44 大分	22	22	100.00%	17	0	17	5	0	0.00%	0	0
45 宮崎	4										
46 鹿児島	31	31	100.00%	24	0	24	7	0	0.00%	0	0
47 沖縄	21										
全国	2,100							47	2.24%	11	36

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数